

都民ファーストの会 東京都議団 総務会長

東京都議会議員  
(中野区選出)

# 荒木ちはる



1982年3月生まれ。久留米大学法科大学院法務研究科（法務博士）修了。小池百合子衆議院議員公設第一秘書（秘書歴6年）、東京都知事小池百合子事務所長を経て、2017年より東京都議会議員（3期）。厚生委員会理事。

## 東京大改革をさらに～2025年秋～

### 1 無痛分娩助成 申請受付開始

望む方が安心して子供を産み育てられる社会の実現のために、無痛分娩への助成をスタートしました。

- 受付開始/10月1日から
- 対象/対象医療機関で10月以降に出産した都民 都内125か所の医療機関が対象（9/30日時点）
- 助成額/最大10万円

東京都無痛分娩費用助成コールセンター  
0120-620-620（平日9時～17時）

動画も公開中→

[https://tokyodouga.metro.tokyo.lg.jp/yqn\\_fj5qmqz.html](https://tokyodouga.metro.tokyo.lg.jp/yqn_fj5qmqz.html)



### 2 保育料無償化スタート!

保育料の無償化は、本来国がすべきものですが、国が実施するまでの間、9月1日から保育料等第一子無償化を実施しています。所得制限はありません。

|     | 第3子以降   |           | 第2子       |          | 第1子      |
|-----|---------|-----------|-----------|----------|----------|
|     | 第1子が就学前 | 第1が小学生以上  | 第1子が就学前   | 第1が小学生以上 | 就学前      |
| 国制度 | 無償化     | 保護者負担 1/2 | 保護者負担 1/2 | 全額 保護者負担 | 全額 保護者負担 |
| 都制度 | 無償化     |           |           |          |          |

※認可保育所、認定こども園、地域型保育事業、児童発達支援事業所等の場合

### 3 シルバーパスの料金引き下げスタート!

高齢者の社会参加を後押しするシルバーパスは本年10月から年間12,000円に引き下げられました。多くの皆さんに活用いただければと思います。



**POINT!!** この件は、2025年2月26日の本会議代表質問にて、「高齢者の社会参加のためのシルバーパスについて、実態把握のためのICカード化、利用状況を踏まえた再構築に至るまでの利用者増につながる年間負担額の低減」を質問し、都知事からは、「抜本的な見直しまでの間、利用者負担額を本年10月から12,000円に引き下げる」との答弁を引き出し、事業化されたものです。シルバーパスに関する情報はこちら→[https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/kourei/shakai\\_shien/s\\_pass/hakkou](https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/kourei/shakai_shien/s_pass/hakkou)

### 4 世界陸上東京大会 大成功!

世界陸上(9/13～21)が終了しました。2,000人超のアスリートを迎え、大会入場者は61万人(日本陸上競技における過去最高)と発表されました。今回の成果のひとつは、従来の広告会社依存からの脱却でした。東京五輪の業務受注で電通らが独禁法違反で有罪判決を受けた事件発覚後、都は国際スポーツ大会への都の関与のガイドラインを策定し、そのガイドライン運用第一号となった今大会。大会運営は、都の出向者や競技団体職員などが担いました。

**CHECK!!** 都が談合・汚職事件を受けて、国際スポーツ大会に関するガバナンスの強化を目的とした指針を策定・改定しました。例えば、独立した選考委員会の設置、コンプライアンス委員会の設置、会計監査や内部監査の連携、出向者の配置に関する基準の明確化などが規定されています。

**ガバナンス指針とは?**

## ① 『火葬場』を公共インフラとして守る！

23区では9施設ある火葬場のうち7施設が民営。燃料費や人件費の高騰を理由に、公営火葬場も含めて値上げしていた。民営火葬場は廉価な区民葬事業からも撤退を表明。都民から心配の声があがっていました。火葬場は墓地埋葬法によって、区市町村の権限ですが、**小池知事は、国に法改正を求め、都として取り組む方針**を発表しました。



**森村団長**：火葬場は、重要なインフラ。民間事業者の一方的な区民葬からの撤退により都民に不安が広がっている。



**小池知事**：火葬について安定的な体制確保が重要。今後、都内全ての火葬場を調査し実態を把握する。火葬能力の強化に向けて、区市町村と連携する。

## ② 災害時の命の道を守る！～無電柱化の新たな条例を～

災害発生時には、電柱倒壊が原因の停電や渋滞も想定されることから、都は、無電柱化を進めてきました。すでに、無電柱化の重点地域はほぼ整備が終わり、区市町村道路にも適用されています。道路新設を伴う宅地開発は、都内で年間500件程度あり、推定で年間850本程度の電柱が新たにたてられています。**このたび、都として新たな電柱の設置を原則禁止**することで、災害時の命の道を守る施策が進みます。



## ③ 女性活躍推進条例の制定へ

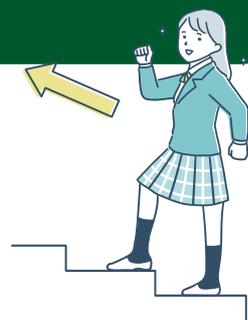
都は、誰もが自らの生き方を性別にとらわれず選択できる社会の実現を目指しています。「ジェンダーギャップ指数」において、日本は**148か国中118位**であり、**日本の女性活躍はあきらかに世界から後れをとっています**。人口の半分を占める「女性の力」を最大限に引き出すことは、社会の多様性を高めることに直結し、一人当たりの生産性を高めることに通じます。定例会では条例制定にむけて、働く女性が出産などのライフイベントと就労の両立を進める企業の後押しや、社会全体の意識改革を進めること、企業での女性活躍の調査などを行う方向性が示されました。



## ④ 障がい者の18才の壁

障がい者の18才以降の居場所や学びの場の拡充は重要な課題です。これを「18才の壁」と言います。都は**「障がい者の学びの継続について実態調査し、新たなプログラムを作り上げる」という**方向性を示しています。

定例会では、障がい者の18才の壁に関する区市町村の状況調査を行い、43自治体から「夕方の居場所ニーズがある」と報告があり、人材や場所、移動手段の確保などの課題が示されました。区市町村への財源措置、国への提案要求などが示されました。これから具体的な施策検討がスタートします。



## ⑤ 暑さ対策を、さらに

酷暑を乗り切るため、**水道料金の基本料無償化やエアコン購入費補助、クールスポットの活用、教育現場での暑さ対策**などが施策展開されました。これからは、清掃現場・建設現場での制度改善など社会全体の行動変容も必要です。生命をまもることを最優先に、持続可能性のある暑さ対策が求められます。

定例会では、来年夏を見据え、暑さ指数計測器や日よけなどの拡充や日傘の普及啓発、さらに、暑さに適応したライフスタイルや働き方への転換などを進めることが示されました。



あらき  
**荒木ちはる**

東京都議会議員(中野区選出)

都政・都議会についてのご意見・要望をお聞かせください

〒164-0001 東京都中野区中野2-12-5-1F  
TEL : 03-6382-5557 FAX : 03-6382-5537  
info@araki-chiharu.com

